

# 荻窪病院だより

医療法人財団 荻窪病院 広報誌

2019 年 6 月 20 日発行

発行責任者:村井 信二

企画/編集/印刷 地域連携室

〒167-0035

東京都杉並区今川 3-1-24

代表 TEL:03-3399-1101

地域連携室直通:03-3399-0257

## 気になる子供の長引く咳や鼻水。 夜、咳で起きてしまう場合は受診を。 眠りを妨げる「ネブマラゴビキ」は治療で軽快。

Q 乳幼児のゼイゼイ・セロセロが  
続くと喘息かと心配になります

2歳くらいまでの小さなお子さんは、風邪をひけばゼイゼイすることが多いのですが、すぐ喘息に結び付くわけではありません。1〜2歳までの長引く咳は「繰り返し風邪をひき治りきらない」状態であることも多く、血液検査をしても、喘息の診断の参考となるアレルギーの反応が出ない場合があります。受診の目安としては、夜に咳で起きてしまう、咳で吐いてしまう場合

はかかったほうがよいでしょう。鼻水がのど側に流れ込んで咳が続いていることもあるので、専門家の診察を受けるといいですね。夜の睡眠を妨げるという点では「子どものいびき」にも注意が必要です。

Q 毎年、花粉症で大変です。  
子どもによい治療はありますか？

小児科外来では7月から「舌下免疫療法」を始める予定です。これは、ダニもしくはスギのエキスを含んだ錠剤を用いて、毎日ごく少量のアレルゲンを摂ることで、免疫をつけ、アレルギー性鼻炎や花粉症の症状を軽くするというものです。

5歳以上のお子さんが対象で、1日1回、1〜2分間ほど口の中に錠剤を入れます。3〜4年続ける必要がありますが、徐々に効果をみる事ができます。

いびきは本来かくものではありません。いびきで睡眠が断絶され、よく眠れないと成長発達にもよくないので、治療をしたほうがよいでしょう。飲み薬や外用薬で、いびき自体はかなり改善されます。中には扁桃腺を取る手術が必要になるお子さんもいますが、まずは内科的な治療から始めていきます。

いびきの原因である扁桃腺肥大やアレルギー性鼻炎が続くと、鼻呼吸ができなくなると口が開いてしまうことが特徴で、集中力や学習能力が低下するとの報告もあります。長く続くとつらい症状でもありますが、ぜひ一度ご相談ください。



にしだ さとこ  
西田 理子 小児科 医長

先生も3人のお子さんの子育て中。「火曜日の午後」に「呼吸器・アレルギー外来」を行っています。かかりつけの先生にご相談の上、「お越しください」※ご予約・お問い合わせは地域連携室までどうぞ。電話 03・3399・0257

荻窪病院は  
地域医療に  
貢献します

理念

患者さんへ安心して信頼される医療を提供します。  
職員へやり甲斐のある仕事と豊かな生活の場を提供します。

基本方針

1. 急性期医療に全力で取り組み、地域社会に貢献します。
2. 個人の権利を尊重し、相互信頼に基づいた患者さん中心の医療を提供します。
3. 豊かな人間性と優れた技能を有する医療人の育成に努め、活力のある病院づくりをします。
4. 経営の健全化に努め、質の高い医療を地域に提供し続けます。



## 急性期機能拡張工事 〆ご報告① 化学療法室・言語聴覚療法室が 新しく7階に完成しました

当院は地域医療支援病院として、さらに地域の皆さまに貢献できる

よう、急性期機能を拡張する工事を18年より行っています。第1期の工事が終了し、4月末より化学療法室と言語聴覚療法室が新しく7階にオープンいたしました。

どちらの部屋も以前にくらべ倍以上の広さとなり、眺めのよい明るい部屋で、お過ごしいただくことができますようお願い申し上げます。

できます。このあと、7月下旬にはリハビリテーション室が7階に、また10月には日帰り手術センターが地下1階に新設される予定です。患者さんやご家族はじめ、ご来院の皆さまには工事の音や振動で迷惑をおかけしておりますが、もうしばらくご理解・ご協力をいただけますようお願い申し上げます。

リハビリテーション室が7階に、また10月には日帰り手術センターが地下1階に新設される予定です。患者さんやご家族はじめ、ご来院の皆さまには工事の音や振動で迷惑をおかけしておりますが、もうしばらくご理解・ご協力をいただけますようお願い申し上げます。

リハビリテーション室が7階に、また10月には日帰り手術センターが地下1階に新設される予定です。患者さんやご家族はじめ、ご来院の皆さまには工事の音や振動で迷惑をおかけしておりますが、もうしばらくご理解・ご協力をいただけますようお願い申し上げます。



**7階 化学療法室**  
おもに抗がん剤などの長時間の点滴を行う部屋です。独立した調剤室も設置されています。

### 7階 言語聴覚療法室

発語・発声や食べ物の飲み込みなどのトレーニングを行う部屋です。どちらの部屋からも富士山がよく見えます。



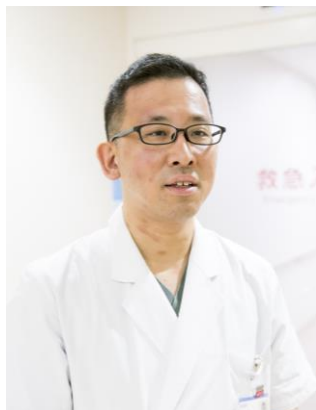
## 第43回みんなの健康講座

「熱中症」7月20日(土) 15時から

お申込み受付中!

年々激しく暑くなっている夏。昨年の災害的猛暑の記憶も新しい方も多いのではないのでしょうか。

7月20日(土)に当院で「熱中症」をテーマとした健康講座を行います。ご自身や家族の身を守るために知っておきたいことを救急科の辻晋也医師がお話いたします。「まさか自分が…」とならないよう、夏を無事に過ごすための知識を身につけましょう。お申し込み(無料)は左記の地域連携室まで、お電話でどうぞ。



救急科 医師  
**辻 晋也** (つじ しんや)

●日にち 7月20日(土)

●時間 15時～16時(開場14時45分)

●会場 荻窪病院 7階レストラン

●お申込み(無料)

地域連携室 03-6369-02517



月曜～金曜 9時～17時  
土曜 9時～12時

### R1.5.1. 当院一番の令和ベビーちゃん

元号が切り替わって数時間後、当院一番の令和ベビーちゃんが誕生されました。健やかな成長をお祈りいたします!



荻窪病院「産科ブログ」でもご紹介しています

## 大規模災害訓練を行いました

5月25日(土)に職員200名体制で、震度6の地震を想定した大規模災害訓練を行いました。当院は東京都指定災害拠点病院として、定期訓練を欠かさず行っています。



傷病者は、まず病院前のテント内でトリアージを受け、重症度により「緑エリア=軽症」、「黄エリア=中等症」、「赤エリア=重症」に運ばれ、治療を受けます。